

行政サービスにおけるエリア（圏域）設定の再構築について

第2次総合計画（後期基本計画）の策定に併せて庁内の課長級による庁内検討委員会を立ち上げ、その中の議題の1つとして「行政サービスにおけるエリア（圏域）設定」を検討し、今後の方向性について整理した。

1 人口構造の変化に対応した自治体行政・コミュニティ形成のあり方について（課題）

○高齢化と今後の人口減少による課題

- └ 税収や行政需要への影響
- └ 家族基盤の弱体化
- └ 家族規模の縮小（孤立化）
- └ 活動・行動範囲の縮小
- └ 地域とのつながりの希薄化
- └ 都市基盤整備の進捗（調布保谷線など）

○現行の行政サービスや地域ネットワークにおける課題

- └ 対象者の違いによる類似サービスの実施（生活福祉課、高齢者支援課）
- └ 担当部署の違いによる類似ネットワークの実施（生活福祉課、協働コミュニティ課）
- └ エリア（圏域）の違いによるサービス提供（福祉部門、子育て・教育部門）

○新たな制度への対応

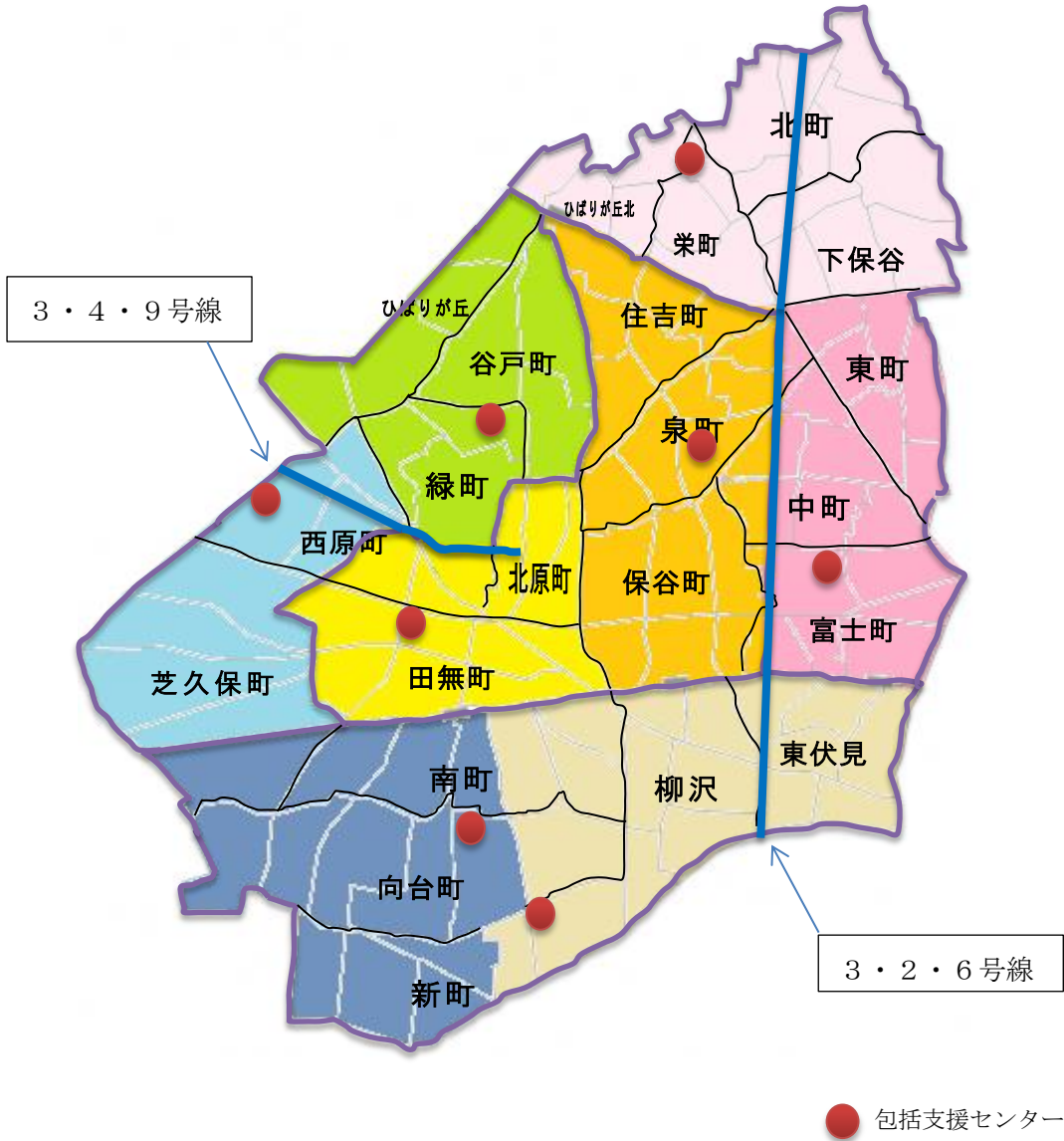
- └ 地域包括ケアシステムの構築
- └ 地域共生社会の実現＝「我が事・丸ごと」

2 エリア（圏域）及び機能を整理することによる効果

- 行政サービス（相談機能）をエリアごとに展開できる。
- 見守り活動などの福祉ネットワークにおける担い手と地域活動の担い手の重複による負担の軽減が図られる。
- エリアごとに一定の配置イメージを持つことで、公共施設の適正配置が図られる。
- 住民協働や多世代交流の促進などが期待できる。
- 地域住民が地域に目を向けることで地域課題の発見と地域で解決するというコミュニティの形成に繋がる（地域力の向上に繋がる）。

3 エリア（圏域）設定の再構築について

現状の4圏域8包括支援センター地区をベースに、現時点で課題と認識している点を整理し、新たな区割りとして再構築する。



行政サービスにおけるエリア（圏域）設定の再構築スケジュール（案）

年次		総人口 高齢化率 (H29.11推計)	関連事項	調整内容	機能面の整理		
第2次総合計画（後期計画）	第一期	2019年 (H31)	202,383人 23.9% (48,111人)		<ul style="list-style-type: none"> ・対象者の違いによるサービス提供体制の整理 ・担当部署の違いによる類似ネットワークの整理 		
		2020年 (H32)	202,399人 24.1%	次期総合管理計画 子育て・子育てワイワイプラン 子育て世代包括支援センター事業			
		2021年 (H33)	202,436人 24.2%	高齢者保健福祉計画(8期)			
		2022年 (H34)	202,532人 24.3%				
		2023年 (H35)	202,304人 24.5%				
第3次総合計画	第二期	2024年 (H36)	202,058人 24.8%	地域福祉計画 高齢者保健福祉計画(9期)	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア(圏域)の違いによるサービス提供の整理 ・高齢化への対応 ・都市基盤整備の進捗への対応 		
		2025年 (H37)	201,817人 25.1% (50,614人)	教育計画 地域包括ケアシステム構築 子育て・子育てワイワイプラン			
	第三期	2026年 (H38)	201,619人 25.3%	都市計画マスタープラン 道路整備計画			
		2027年 (H39)	201,497人 25.6%				
		2028年 (H40)	200,904人 26.0%				
		2029年 (H41)	200,311人 26.5%				
		2030年 (H42)	199,747人 27.1%				
		2033年 (H45)	198,259人 28.6%	庁舎統合			